

# 大和市シリウス・川崎市コンベンションホール、カルッツ視察・見学報告

## シアターワークショップヒアリング報告

---

# 「大和市シリウス、川崎市コンベンションホール、カルッツ川崎」視察・見学概要

## 視察・見学先概要

視察・見学先	所在地	アクセス	主な施設
大和市文化創造拠点シリウス	神奈川県 大和市大和南	小田急江ノ島線・相鉄本線 大和駅より徒歩3分	芸術文化ホール、図書館、屋内こども広場、生涯学習センター等
川崎市コンベンションホール	神奈川県 川崎市中原区 小杉町	JR南武線・湘南新宿ライン・横須賀線 武蔵小杉駅 より徒歩約4分	コンベンションホール、会議室等
カルッツ川崎	神奈川県 川崎市川崎区 富士見	JR川崎駅、京急川崎駅より 徒歩約15分	体育館、ホール、共用施設等

# 1. 神奈川県大和市「文化創造拠点シリウス」

## ◎シリウス施設計画

- 当初は分譲マンションを中心とした計画が立てられていたが、リーマンショックの影響により計画が頓挫。また、定員600人程度のホールを備えた旧生涯学習センターの老朽化という課題を抱えており、両者の課題をマージする形でシリウスの計画が実現。
- 市長の主導により、市は土地の9割を所有し、ホール・図書館を組み入れた文化施設へと計画を大幅に変更。
- 建設費は全体で160億円、うち市の負担分は147億円（ホール78億円、図書館44億円、生涯学習センター17億円など）。

## シリウスとサンシティの比較

	駅からのアクセス	敷地面積
シリウス	小田急江ノ島線・相鉄本線の大和駅より徒歩3分	9,378㎡
サンシティ	JR武蔵野線南越谷駅、東武スカイツリーライン新越谷駅より徒歩3分	1万8632㎡



# 1. 神奈川県大和市「文化創造拠点シリウス」

## ◎施設運営

- 指定管理者やまとみらいは、図書館流通センター(代表企業)、サントリーパブリシティサービス、小学館集英社プロダクション等の6者で構成される。
- 基本計画にて公共施設の複合化が掲げられ、各施設が連携した一体運営が求められている。  
例：芸術文化ホールで文楽の催しがあれば、図書館で落語講座を、生涯学習センターで歴史講座を開くなど
- 市はやまとみらいに対して年間7.98億円の指定管理料を支払い。
- やまとみらいの事業関係収入は、施設利用料が8600万円、ホールのチケット事業収入が5100万円、生涯学習センターのイベント収入は92万円など。

### ▼各施設の業務分担

施設 業務	芸術文化 ホール	図書館	生涯学習 センター	子育て 支援施設	市民課 連絡所
貸館・窓口	指定管理者				行政
事業の 企画・実施					行政
施設の 維持・管理	管理組合(行政も含む)				

### やまとみらいによる施設全体の一体的な運営

施設	指定管理者分担
図書館 (1階～5階)	図書館流通センター
芸術文化ホール (1階)	サントリーパブリシティサービス
子育て支援施設 (3階)	明日香社、ボーネルンド
生涯学習センター (6階)	小学館集英社プロダクション
施設維持管理	横浜ビルシステム

# 1. 神奈川県大和市「文化創造拠点シリウス」

## ◎施設概要

- 芸術文化ホール、図書館、屋内こども広場、生涯学習センターの主に4つの機能を備えている。
- 各階ごとにコンセプトが分かれており、それぞれ私語、飲食、パソコン利用の可否などのルールが異なる。

- 誰もが居場所を見つけられる運営が好評となり、2016年11月の開館から約3年で累計来館者数1000万人を突破
- 利用者は午前中は年配の方が多く、午後に学校が終わると中高生が多く集まる。シリウスは学生による利用が当初の想定よりもはるかに多く、席の場所取りが行われ、自習室も満席状態となる。

## ①芸術文化ホール

2つのホールをギャラリー、マルチスペースを備えており、メインホールの席数は1007席、サブホールは272席となっている。

■ メインホール



高い音響性能を備えたメインホールは、上質で落ち着いた空間です。バレエやミュージカル、日本舞踊をはじめ、クラシック音楽やジャズの演奏会までさまざまな演目に対応します。

客席数 最大1007席（1階 795席、2階 212席）

舞台 音響反射板使用時  
最大間口：18m 奥行：11m

■ サブホール



小規模の演奏会やダンス・演劇などに適したさまざまなニーズにお応えできるホールです。座席を収納し、平土間形式でもご利用いただけます。空間をフルに使った講座やイベント開催も可能です。

客席数 最大272席

舞台 段床形式時  
最大間口：12.6m 奥行：11.6m  
平土間形式時 面積：240㎡

■ ギャラリー



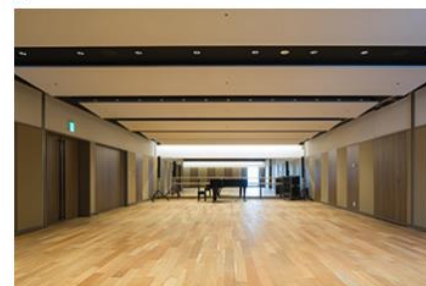
可動式パネルを備え、幅広い展示方法でご利用いただけます。大型絵画の展示も可能です。

面積 219.3㎡

天井高 4m

壁長 114.5m（可動式パネル含）

■ マルチスペース



小規模のピアノ発表会や合唱・楽器の練習などにご利用いただけます。ホールでの公演のリハーサルも可能です。

定員 100人

面積 145.3㎡

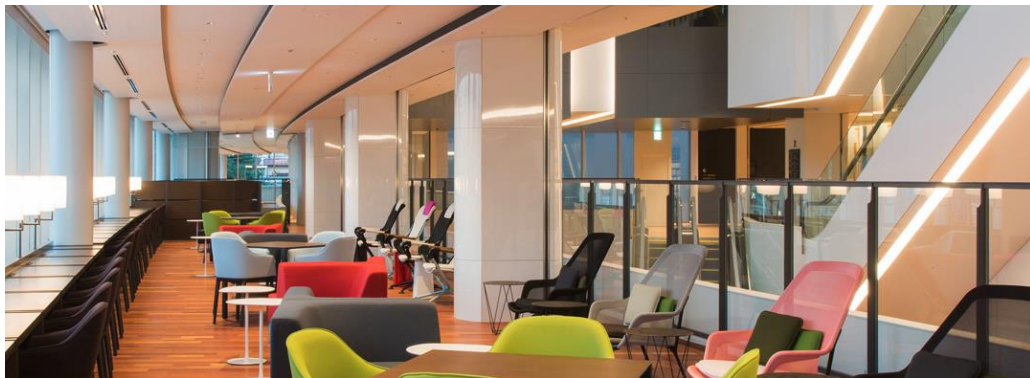
# 1. 神奈川県大和市「文化創造拠点シリウス」

## ②図書館

### 市民交流フロア(2階)

【図書館、市役所連絡所、イベント観光協会、市民交流ラウンジ、ロッカー】

2時間100円で利用できる市民交流ラウンジを設置(現在は新型コロナの影響により閉鎖中)



### 健康都市図書館フロア(4階)

【健康図書館コーナー、健康度見える化・ロボットコーナー、まんが・雑誌コーナー等】

健康都市やまとを掲げる市長の強いこだわりがあるフロアで、健康に関する図書や、健康測定器・ロボットなどが置かれている。

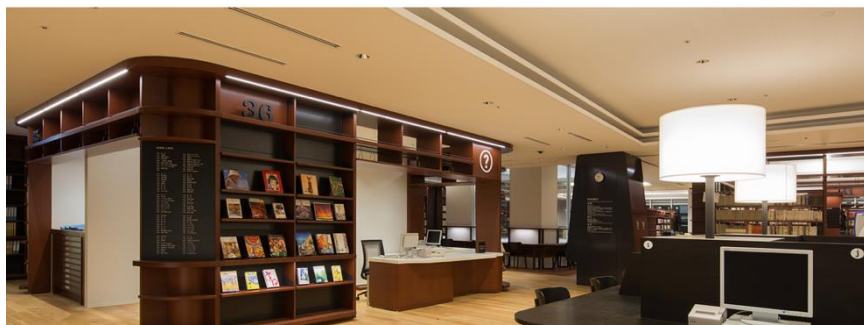


# 1. 神奈川県大和市「文化創造拠点シリウス」

## 調べて、学ぶ図書館フロア(5階)

【レフェレンスカウンター、読書室、地域資料コーナー、点字図書館等】

私語やパソコンの利用も禁止されており、静かな環境で読書ができるフロアとなっている。



## ③屋内こども広場(3階) (明日香社、ポーネルドによる運営)

【子ども図書館、ちびっこ広場(0歳～2歳対象)、げんきっこ広場(3歳～小学2年生対象)、保育室※、多目的室、音楽スタジオ等】

※保育室には保育士が常駐し、1時間500円で子どもを預けることが可能。



げんきっこ広場  
大和市内の方200円、大和市外の方300円(2時間)



子ども図書館  
乳幼児から児童向けの絵本や紙芝居などを揃える



音楽スタジオ

### フロア内でのイベント企画事例

**げんきっこ防災フェスタ**

9月1日(火)  
第2クール内(11時~12時30分)

対象 3歳~小学2年生までの親子35組  
申込 不要  
場所 大和市文化創造拠点 シリウス 3階 屋内こども広場

げんきっこ広場特別参加ご希望し、ご大層な応援をお願いします。

**プログラム**

1. 「防災の日」ってなあに?
2. 防災O×クイズ
3. クラリ3分間

はじめてご利用の方は、事前のご参加が必須です。

防災ってなんだろう? 家族みんなでもよっと考えようませんか?

ご参加お待ちしております!

〒242-0202 神奈川県大和市大原7-1-100  
TEL: 046-251-1111 FAX: 046-251-1112  
大和市文化創造拠点 シリウス 3階 屋内こども広場

# 1. 神奈川県大和市「文化創造拠点シリウス」

## ④生涯学習センター(6階) (小学館集英社プロダクションによる運営)

【会議室、市民交流スペース、和室、料理実習室、印刷室等】

食事や歓談ができる市民交流スペース



大会議室、中会議室と5つの小会議室を設置



会議室の1つは調理実習室としての利用が可能



生涯学習センターでは、小学館集英社によるイベント企画が行われ、市民満足度は8割程度と高くなっている。イベント収入は92万円と少額。

市民交流スペースにイベント企画が張り出される



イベント事例

大和市文化創造拠点 シリウス 健康都市大市

### 大和の魅力が市民が発信！ ラジオ番組 作って みよう

¥アイデア求む！ / 大和のコミュニティ FMラジオ放送局「FMやまと」にご協力いただき、年末年始の特別番組づくりを目的とし、大和市民による大和市市民の魅力を伝えるべく、多岐にわたる分野で協力を、積極的な意見をいただき、やまとの魅力を生かすに貢献できる楽しい番組づくりをぜひご自身の思いと、素敵なアイデアをお持ちください！ ※制作上費用は、毎年10月～12月(録音中)、FMやまとで放送する予定です。

全5回 いずれも 土曜 13:30～15:00  
講師 FMやまとパーソナリティー

第1回 9/28 発声、番組づくりの心がまえと基礎知識、ネタあつめ  
第2回 10/12 番組づくりにおける注意事項など  
第3回 10/26 チームに分かれて番組づくり開始  
第4回 11/09 引き続き番組づくり、仕上げへ  
第5回 11/23 FMやまとのスタジオにて 収録！  
⇒2019.12.30～2020.01.03 ON AIR!! (時間未定・期間内複数回)

★ 大和市文化創造拠点シリウス3階生涯学習センタースタジオ大 (会場)  
★ 大和市内在住・在学・在職の高校生以上の方、全5回に参加できる方  
★ 定員 10名(抽選)  
★ 全5回2,000円(学生1,000円/月) ※学生証をお持ちください  
★ 抽選におまかせください。変更はできません。  
★ 申込 電話 または 生涯学習センター窓口にて  
★ 申込締切 9/23 月/祝  
★ 申込費、参加費 046-261-0491

★ 大和市文化創造拠点シリウス3階生涯学習センター  
★ 046-261-0491

大和市文化創造拠点シリウス 健康都市大市

### 男性料理教室 はじめの一步

全6回

基本の調理「汁」、ごはんから、冷凍食品や乾物の上手な活用方法、旬を楽しむ献立、「バランスの良い食事まで」-ゆっくり学びましょう。

9/25・10/23・11/27  
12/25・1/22・2/26

どもに水曜日 10:30～13:30  
大和市文化創造拠点 シリウス6階 生涯学習センター 611調理実習室  
講師 大和市食生活改善推進員

対象：大和市内在住・在勤の料理初心者の方  
定員：18名(定員を超えた場合は抽選)  
参加費：2,000円(6回分)

※本講座では調理器具を使用します。  
※後物アールシーについては、自己責任においてご参加いただきますようお願いいたします。

★申込み：窓口またはお電話がききに下記事項をお書きください。  
氏名、住所、生年(小のかわ)、電話番号、性別、希望アールシーの有無(大和市外に在任で、大和市外に在勤の方はその旨をお書きください)  
★送り先：〒242-0016 大和市大和南1-8-1 大和市文化創造拠点シリウス6階生涯学習センター行

★申込締切 9/31(土) 申込締切(必須)

★お申し込みの際は1枚につき1名の申し込みとします。  
★毎回結果は抽選1週間前を目安にお知らせします。  
★開講3日前までにこの連絡の無い場合はお断りさせていただきます。

問合せ)大和市生涯学習センター 046-261-0491

大和市文化創造拠点シリウス 健康都市大市

### 小学生なつやすみ体験講座

小学と生涯学習センターとが協力して開催しているワンランクアップ体験の方法が、自給自足の準備を体験し、好きな調理を自分で楽しんで楽しく学ぶんですよ。

◎7/23(火) 10:00-11:30  
★がけっこ★  
コツを習って、めざせ！がけっこ名人！  
・煮えてくれる人:久慈 晋 先生  
・対象:小学1年生以上  
・定員:28名(抽選)  
・参加費:無料

◎7/29(月) 14:00-15:30  
★リトミック★  
音楽好き集まれ！感じるままに  
体で表現してみよう！  
・教えてくれる人:高橋 和枝 先生  
・対象:小学1年生以上  
・定員:28名(抽選)  
・参加費:無料

◎8/1(木) 10:30-12:30  
★料理★  
もちろみっけかっぱ  
肉まん、あんぱんを作ってみよう！  
・教えてくれる人:中野 輝子 先生  
・対象:小学1年生以上  
・定員:28名(抽選)  
・材料費:280円

◎8/6(火) 10:00-11:30  
★茶道★  
日本の伝統文化、お茶を点ててみよう！  
・教えてくれる人:青木 麻生 先生  
・対象:小学1年生以上(初心者歓迎)  
・定員:28名(抽選)  
・材料費:280円

◎8/6(火) 14:00-15:30  
★折り紙★  
美さこ姫で！テラノサウルス！  
・教えてくれる人:中野 輝子 先生  
・対象:小学1年生以上  
・定員:28名(抽選)  
・参加費:280円

★申込締切 9/31(土) 申込締切(必須)

問合せ)大和市生涯学習センター 046-261-0491



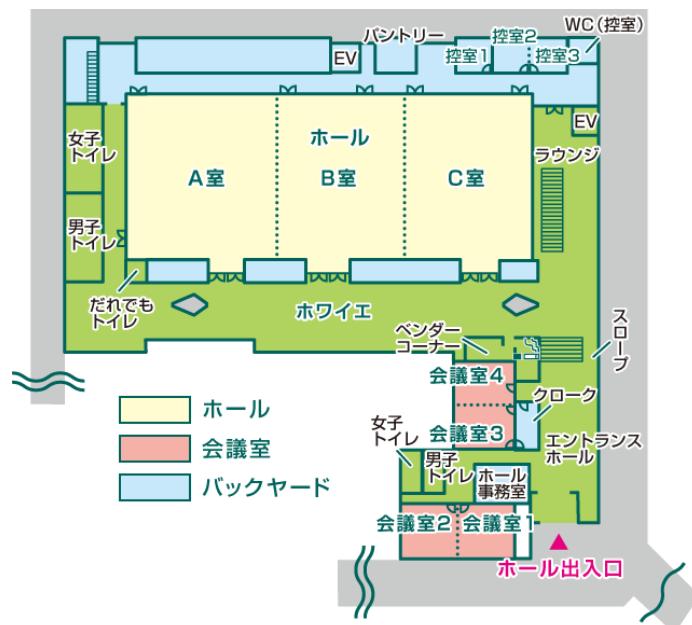
## 2. 川崎市コンベンションホール

### ◎施設概要

- コンベンションホールと会議室を備えた施設。JR武蔵小杉駅より徒歩4分。2018年4月にオープン。
- タワーマンションパークシティ武蔵小杉の2階がコンベンションホールとなっている。
- コンベンションホールの部分は三井不動産よりスケルトンで川崎市に寄付され、川崎市は約10億円をかけて内装を整備。
- 指定管理者は大型イベント等の企画・運営を行う、コンベンションリンケージ。
- 川崎市はマンションの管理組合の組合員となっており、管理費など年間1000万円を支払い。市は指定管理料は支払っていない。
- 一方、指定管理者は川崎市に対して固定費の支払いに加えて、黒字分の一部利益還元を行うことになっており、年間1000万円程度を支払い。



1000人規模の3分割可能なホールと4つの会議室



### ◎施設利用について

- ホールは可動式のウォールにより3室(A・B・C室)まで分けることが可能(3室を一つのラージサイズのホールとしても利用できる)。
- 利用者アンケートでは、35%が立地で会場を選ぶと回答。川崎市コンベンションセンターは95%が交通利便性が良いと回答。
- ホール利用率が42%と目標値に届かず、コンベンションホールの周知が課題。
- また、テーブル・椅子等のための倉庫が足りないためテーブル200台を全て収納できず、ホールと倉庫の導線も不便である点が指定管理者より課題として挙げられている。

項目	概要
主な利用者	近隣の病院や製薬会社、TOEICや受験シーズンの試験会場利用など。リピーターが多い。
ホールの利用割合	3室をまとめたラージサイズが50%、2室のミドルサイズが25%、シングルが25%。
利用率	ホール：目標値55%に対し実績値42% 会議室：目標値60%に対し実績値72% ※ホール・会議室の1箇所が利用されていれば稼働とカウント。目標値・実績値は令和元年度の値。
利用料金	ホール(1日利用)：ラージサイズ約90万円、シングル約30万円 会議室(1日利用)：約2万円 ※川崎市のコンベンション条例で上限が定められている(ホール1,000円/㎡、会議室500円/㎡)。
防災機能	帰宅困難者の一時滞在拠点として指定されており、飲料水等の備蓄が行われている(水害には対応せず)。

## ◎施設概要

- 老朽化した川崎体育館と川崎市教育文化会館のホール機能を建て替え、体育館・ホール・共用施設から成る複合施設として2017年10月にオープン。
- カルッツは、カルチャーとスポーツを掛け合わせた造語。
- 隣接する富士見公園や川崎球場、競輪場、競馬場などに足を運んで貰いたいという川崎市の政策もあり、カルッツ川崎が客を引き寄せる役割が期待されていた。
- 施設内には駐車場が無く、川崎駅から徒歩15分程度離れているが、利用者は外部の駐車場や駅からのバスなどを利用。

## ◎施設運営

- 総工事費は120億円強。指定管理者はアクサス川崎（鹿島建設、オリックス・ファシリティーズ、住友不動産エスフォルタ等）。
- 指定管理料は約3億円。



※ - - - は徒歩ルートです。



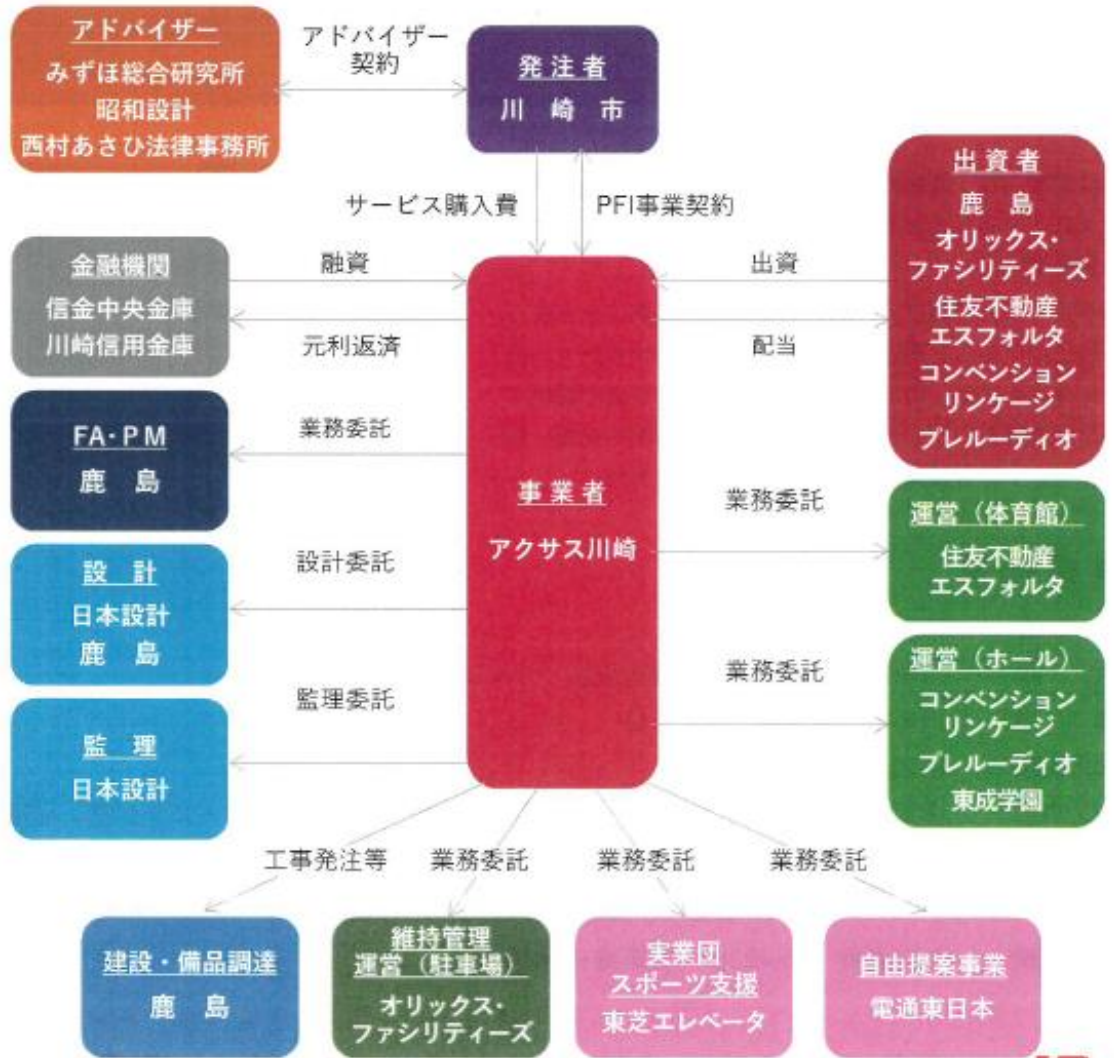
## 施設概観



◎PFI手法の導入

- 鹿島を代表企業とするグループが選定され、アクセス川崎を事業者とする複雑なスキームが組まれている。BTO方式・サービス購入型を採用。

■ 事業スキーム



# 3. カルッツ川崎

## ▼各施設の概要

	スポーツ施設	文化施設	会議室
施設構成	大体育館、小体育館、弓道場、武道室、研修室、トレーニング室	音楽ホール(約2000席)、楽屋、アクトスタジオ、音楽練習室	大会議室、中会議室、小会議室
稼働率 (コロナ前)	体育館約80%	音楽ホール約95% 音楽利用が約7割、市民利用が約5割	会議室約70%
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大体育館には可動式の観覧席(480席)を設置</li> <li>・大体育館と小体育館も人気が高く、1枠で40組の抽選待ちが発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子席(子供が騒いでも大丈夫なようなガラス張りの個室)、車椅子席(1Fと2Fにそれぞれ車椅子のまま入れるスペース)を設置</li> <li>・1階席のみの利用は20万円、3階までは50万円、照明・音響などのフル利用で120万円~150万円程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が利用する時は減免している</li> </ul>



大体育館



音楽ホール



機材搬入口



会議室



トレーニング室



弓道場



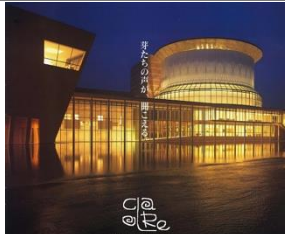


楽屋

◎株式会社シアターワークショップ概要

- 劇場・ホールの計画設計コンサルティングから運営管理まで行うトータルプロデュースカンパニー。
- シリウスや日本青年館ホールの設計、ヒカリエホールの施設運営などを手がける。

これまでの劇場

世代	概要	事例
第一世代＝施主の時代 1960年代～70年代	芸術文化だけでなく講演、映画上映なども対象とした多目的ホールが中心 →どの演目にとっても満足いくホールではなかった	 東京文化会館(1961年開館)
第二世代＝芸術家の時代 1980年代～	音楽や舞台などの専門性を求める要望が高まる →多目的ホールから主目的ホールへ	 サントリーホール(1986年開館)
第三世代＝観客の時代、 創客の時代 1990年代～	舞台に立つ人から観客が主役へ →市民が劇場のみならず日常的に足を運んでもらえるような空間の創出	 黒部市国際文化センター(1995年開館)

## 第四世代＝次世代型劇場・ホール

### 1、アートなまちの、アートなくらし

芸術好きの人たちだけのためではなく、みんなの空間になるよう、生活文化や食文化を含め、日常的な生活の中にアートのあるくらしを実現。

### 2、文化運動体の設立

Jリーグサッカークラブ組織のアート版のような底辺を拡げ、段階的に頂点を高めていく仕組み。

### 3、新たな音楽ホール

若い年齢層はポップスファンが多いため、電気音響を使用する音楽専用ホール。

### 4、シアターコンプレックス

シネコンのように100席程度の小規模劇場を複数集積することで、実際の劇場を使った作品作りや、アーティスト同士の交流を促す。シネコンのように観客はいつでも何かしらの公演を観ることができる。

### 5、究極の専用劇場

ひとつの演出のためにつくられた劇場(Ex. 劇団四季キャッツシアター)

### 6、魅力的な劇空間の探究

空間自体にドラマがある、あるいは歴史の重みを持つ空間を劇空間として活用(Ex. ホテル館内すべてを使った演劇)



池袋西口公演プロジェクト(2019年11月開園)

## ○優良事例紹介： 熊本城ホール(2019年11月開館)

- バスターミナルとの複合施設。
- 2300席の大ホールを中心とした複合文化コンベンション施設。





## ○優良事例紹介： 水戸市新市民会館(2022年2月開館予定)

- 年間60万人の集客を目指す、2000席の大ホールを持つ大型施設。
- 磯崎新設計の水戸芸術館に隣接する敷地に伊東豊雄設計の施設を建設。



# シアターワークショップへのヒアリング「次世代型劇場・ホール～2030型モデルの提案～」

## ○優良事例紹介： 扇町ミュージアムキューブ(大阪市)(2023年度 開館予定)

- LIVEキューブ：150～200席のホールでフレキシブルに舞台の配置や客席数を変更が可能
- VRキューブ：50～100席のミニホールでVRアート、映画館、落語、トークショー等に利用
- COキューブ：キューブが立体的に積み重なる空間で、展示、物販、ワークショップなどに利用

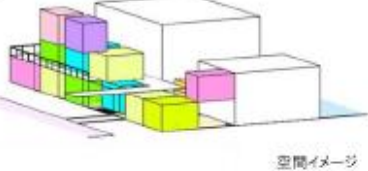


### 劇場 | 施設計画

【運営者】 全国の劇場の企画から運営まで  
実績豊富な劇場運営事業者

### 様々な機能が集積するアート複合空間

- 「キューブ」が立体的に積み重なり、おもちゃ箱のようなアート空間となり、多様な活動が展開されます。
- キューブは、他のキューブやアートストリートから「見る・見られる」の関係を築き、多様な活動の輪を広げます。



### アートストリート

劇場の活動がにじみ出す外部空間

【使用例】 キッチンカー、舞台、フリマ、ミニライブ、大道芸等

### COキューブ

- ひとつの空間が多様な活動に対応する多目的貸室
- コミュニティ(Community)とコラボレーション(Collaboration)を創出する

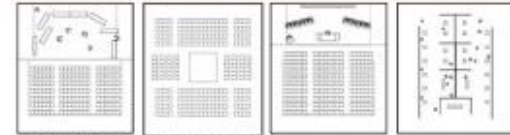
【使用例】 展示、物販、ワークショップ、鑑賞・練習、講座、情報サービス、人材紹介、観光案内、交流、情報交換、会議・打ち合せ等



### LIVEキューブ

客席150～200席のホール  
舞台の形・寸法、配置や客席数を変更可能で、  
幅広い創作活動に対応するフレキシブルな空間

【使用例】 演劇等の公演、落語、講演会、展示、パーティー等



創造性が発揮できるフレキシブルな空間

### VRキューブ

客席50～100席のミニホール

【使用例】 VRアート、映画館、落語、トークショー、楽屋、ギャラリート



### 情報センター

国内外の舞台、アート全般の情報を  
集約、発信する場

【使用例】 書籍等の閲覧、AV情報の視聴、調査・研究、情報発信

### ホワイエ・カフェ

人を呼び込むホワイエ機能を兼ねたカフェ

【使用例】 飲食、読書、読み聞かせ、ホワイエ等